

News

No.146
2023/10/01

■サレジオ高専News 校長メッセージ

■育英学院同窓会報
4年ぶりの卒業生の集い SHCD2023
定期総会開催
河村会長 退任挨拶
恒例のキャリアデーはようやく対面とリモートで開催
第17回育英ファミリーの集い
BLOG紹介 part1,part2
デザイナーからアーティストへ
木工科からスーツアクターへ
定期総会議案 2021.9 - 2023.8

■父母会だより 2022年度 父母会活動紹介

SALESIO

サレジオ高専

サレジオ工業高等専門学校

194-0215 東京都町田市小山ヶ丘4-6-8

Tel. 042-775-3020 Fax. 042-775-3021

Loving Kindness
Human Technology
Living Truth

発行人・・・校長:小島 知博
編集長・・・広報:星野 正登
編集・・・広報:青木 風季



サレジオ高専は 2024年度で“町田移転20周年”



日頃よりサレジオ高専の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝いたします。

私事ですが、本校には杉並からの移転直前の2004年度から勤務しています。多摩境への本格的な移転は2004年度の主な活動が終了すると、物品の移動から始まりました。あるものは杉並に残っており、あるものはすでに多摩境に移っていて、不便さを感じつつも少しずつ新しい場所で本校がスタートすることが感じられました。1年目の大きな特徴の一つは、移転のために通学距離が伸びた学生が寮生になったことです。学内の男子寮、京王堀之内にある借用した会社の寮、そして調布にある女子修道会の経営する女子寮の3か所で寮生は生活することになりました。私も寮監として学内の男子寮に住み込むことになりました。開寮前、寮生の生活に必要な洗濯機などの家電からはじまり、厨房におくタオルに至るまでいろいろなものを揃えたことが懐かしく思われます。

校長室に移転直前の育英祭のときに撮影した教職員（法人職員を含む）の集合写真があります。71名が映っていますが、2023年現在、本校に在籍しているのは21名です。20年間で世代交代が進み、本校に勤務した人の変化に時の変遷を感じます。

多摩境に移転して本校が大切にしていることの 하나가地域社会とのつながりです。幸いに地域の方々からの依頼もあって「サレジオ高専地域交流協議会」が2014年度に発足しました。この協議会を通じて、町田市からの協力依頼があり、町田市の観光コンベンション協会や他の機関との連携が広がり、少しずつ町田市にあるサレジオ高専を市民の方に認知してもらえるようになりました。本校はこれからも教職員、学生、保護者、そして地域の方や企業の方とのつながりを大切にしながら、教育活動を展開していきます。2025年度には本校創立90周年を迎えます。サレジオ高専は多くの人たちに愛されて、成長することができています。これからも本校へご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

サレジオ工業高等専門学校
校長 小島 知博

2025年度で “創立90周年” を迎えます



育英学院同窓会報

発行人:育英学院同窓会 / 事務局:東京都町田市小山ヶ丘4-6-8 サレジオ工業高等専門学校内



特集 育英卒には多彩な人生が...

今回は高専卒でデザイナーからアーティスト(陶芸家)になった人、また高専の前身育英工高出身でスーツアクターなどの俳優になった人です。

4年ぶりの卒業生の集い SHCD2023

さる2019年10月にSHCD2019を開催してからコロナ禍のもと育英祭の非公開により3年に渡って開催を中断した。今年はようやく育英祭も平常に開催される予定になっており、同窓会も先駆けて表記SHCD2023開催を決定し、新卒として迎えられなかった53期、54期、55期、56期の卒業生を招待して町田で開く準備を進めている。

2023年10月21日(土)
14:00 受付開始、16:00 開会
学生食堂(学生棟2F)

定期総会開催

理事会・評議員会を招集し総会に替えて開催し SHCDで報告する。

2023年9月16日(土)
14:00開会(リアル&リモート方式)

今期の定期総会に予定している議案は以下の通り

- 会長挨拶 河村英和(高専1期)
 - 第1号議案 同窓会の現況報告
 - 第2号議案 2021-2022 事業報告
 - 第3号議案 2021-2022年度決算報告・同監査報告
 - 第4号議案 2023-2024事業計画
 - 第5号議案 2023-2024年度予算案
 - 理事会報告 新会長奥山勇人(高専9期) 就任挨拶
 - 評議員会選出 新執行理事平田良子(高専31期)、
同 北原徳之(高専36期) 選任
 - 新事務局長 福原信広(新高専事務局長) 紹介
- 決算報告は原稿作成時点(2023/8/20)の仮報告とし、
監査後の正式報告は次号掲載とする

河村会長 退任挨拶

同窓会長の河村でございます。去る2023年9月16日に行われた定期総会(理事会・評議員会による代替)を機に会長を退任させていただきました。6年間の就任でしたが、半分はコロナ騒動によりリモートでの会合と成り卒業生が対面で集うことを目的とする活動はその本質を失うことに成りました。それでも在任中は同窓会の理事、役員、学校関係者の皆様をはじめ多くの会員の方々の温かい指導、ご支援、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。



・サレジオ同窓会連合について

同窓会活動の一つにサレジオ同窓会日本連合との関わりがあります。この組織はドンボスコにより創設されたサレジオ学校の同窓生により構成され当同窓会の他、大阪星光学園・横浜サレジオ学院・宮崎日向学院・小平サレジオ小中学校が加盟し、その上部団体にはサレジオ同窓会世界連合があります。日本連合の発足は2015年で、各校同窓会会長が日本連合の会長・副会長を歴任して来ましたが、若手中心による活性化をめざし規約改正の予定です。2020年にはアジア・オセアニア地区大会の東京開催が決まりましたが開催直前のコロナ騒動により2021年に各国からのオンライン参加大会となりました。

思い起こせば2017年にアジア・オセアニア地区での東ティモール大会に参加し、それ以来のお付き合いにより駐日東ティモール大使館訪問(既報)も実現しました。良き思い出の一つです。最後になりますが卒業生のより一層のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げ、ご挨拶と致します。有難う御座いました。
(河村会長は今後も顧問としてご協力くださいます)

恒例のキャリアデーはようやく対面とリモートで開催

サレジオ高専（町田） 2023/5/20

例年開催されていたOBOG講師を招いたキャリアデーはReal&Remote環境で行われたが多くの卒業生の協力を得た。同窓会としても感謝の意を表した。

#	卒期	科名	講師氏名	講演学科	勤務先会社名
1	52	AD	小嶋 音色	AD	フリーランス
2	53	AD	佐々木 結乙	AD	特許庁
3	55	AD	小野 航汰	AD	株式会社本田技術研究所
4	55	AD	斎藤 由佳	AD	東京造形大学
5	43	EE	飯田 昌平	EE	東芝インフラシステムズ株式会社
6	43	EE	青木 裕太	EE	メタウォーター株式会社
7	44	EE	菊池 輝之	EE	カヤバ株式会社 岐阜北工場
8	43	EE	橋間 大鉄	EE	東京電力パワーグリッド株式会社
9	44	ME	加藤 祥太	ME	東海旅客鉄道株式会社
10	53	ME	溝口 紗蘭	ME	リオンテクノ株式会社
11	50	ME	坂口 空	ME	株式会社JVCKENWOOD・エンジニアリング
12	46	ME	中田 匡哉	ME	日産自動車株式会社
13	54	ME	綿貫 歩	ME	アライドテレシス株式会社
14	52	ME	野田 聖人	ME	新協電子株式会社
15	26	CS	岸川 雄一	CS	OKIサーキットテクノロジー株式会社
16	41	CS	皆川 麻希	CS	CTCテクノロジー株式会社
17	51	CS	合津 大地	CS	オムロンフィールドエンジニアリング株式会社
18	51	CS	西田 駿人	CS	株式会社Blueship
19	54	CS	権 奈悟	CS	電気通信大学

今年のキャリアデーは2023年5月20日に町田のサレジオキャンパスで開催、基本リアル対応で一部の講師についてはリモートからのアクセスであった。河村同窓会長は同日別件の会合もあって自宅からリモート参加で4年生の皆さんに挨拶した。

高専・大学における就活の動向も変化しつつあり、例えば企業のインターンシップも採用とのリンクが可能となった。ということは就活が3年次からも始まることを意味する。進学希望が40%近くになっている中、就職希望の学生の奮起を促したい。

また受け入れ企業にいる先輩方の引きも是非お願いしたい。問い合わせはキャリアセンターまでどうぞ

第17回育英ファミリーの集い

恒例のさくらの会は、コロナ5種への移行に従いさくらではなくツツジの咲く5月20日に旧育英高専敷地の右隣にある杉並育英サイテックで開催された。



談笑する育英ファミリー会と同窓会の両会長



歌姫
小川えみさん

次ページに続く



今年で85歳、元気な伏木先生（神父）



印刷（グラフィック）の加藤先生と教え子



集合写真（若い世代の同窓生のコメント：頭の白い人が目立つなー）

第13回のさくらを見る会から3年、14回、15回、16回を休会として今回ようやくリアルな対面方式の会合が開催、それもコロナが格下げになった5月20日、杉並育英サイテックのホールに約70名が集った。白髪の人はおおむね育英中学、育英工高（77歳以上）時代の卒業生で、育英高専卒は移転前の40期生以前の皆さんが多かった。恩師の先生も電気・電子工学科の黒田先生、デザイン学科の林先生も出席され、乾杯の時には歌姫小川えみさんが乾杯の歌を披露、サイテックからは伏木先生のお他、スロイテル神父、鈴木茂神父、並木神父、浦田神父も顔を出された。来年はさくらの季節に会おうという言葉で会を閉めた。

以下スロイテル神父と依田先生



鈴木神父と黒田先生



BLOG紹介 (2023/1~2023/7) part1

2023年02月02日

報告：さくち英一さん（H12C）フリーマガジン「チョイス」の記事に

サレジオ高専の旧名称育英高専の前身である育英工高12期木材工芸科（現在のデザイン学科の前身）出身のさくち英一さんは本校を卒業後、映画俳優の夢をもって日本大学芸術学部に進学、その後「帰ってきたウルトラマン」のスーツアクター（ウルトラマンの衣装を着てアクションに挑む）や映画「戦国自衛隊」のアクションスターとして活躍されました。この度、工高生対象の雑誌「チョイス」にその活躍が掲載されました。現在80歳を経て元気に活躍されています。



2023年03月23日

報告：修了式・卒業式が杜のホール（橋本）で開催

去る2023年3月16日橋本にある「杜のホール」で専攻科21期修了式、本科56期卒業式が挙行了。コロナ流行の影響で3年間校内挙行であった。しかし場内員数の制限で保護者の同席はできなかった。今後育英祭も含めてコロナ以前に復帰したいところであるが予断は難しい。状況に応じて適宜対応していくことになる。



2023年05月23日

報告：鈴木（阿久津）ちひろさん東チモールから表彰

去る2023年5月19日、東ティモール大使から彼女の同国に対するさまざまな活動が表彰されました。高専ニュースのプロフィール紹介でも取り上げましたが、学生時代にスロイテル先生とともに同国へのボランティアに参加しその後も度々訪問し、数年前のサイクロン被害では多くの卒業生の支援を受けて多額の義援金を送りました。今回はVIVATIMという彼女の創案したブランドで様々な作品を作り皆様に提供しています。5月20日には千代田区施設で東南アジア各国を集めたイベントがありVIVATIM活動の紹介をされたようです。



鈴木（阿久津）さんは育英学院同窓会の執行役員でもありその縁で同窓会執行役員会としてVIVATIMの活動を支援しています。同日杉並で行われた「育英ファミリーの集い」でも東ティモールのVIVATIMブランドのコーヒーを販売し出席の皆様との協力で完売できました…感謝です

2023年03月28日

告知：野島先生の狂言発表会2023/4/28

卒業生の皆さんの多くがお世話になった一般教育英語科の野島伸仁先生が在職中から能狂言の世界でご活躍だったことはご存知のことと存じます。退職後はさらにご精進され、しばしばお知らせに接しております。このたび東京善竹家門下研鑽会において第二回「狂言 やんや座」が公演されます。特に演目「名取川」では野島先生が「シテ」という主役を演じ善竹大二郎師が「アド」という脇役を演じる研鑽の形になります。関心のある方は是非ご覧ください。



以下プログラム



狂言東京善竹家制作の
カレンダーから

2023年03月23日

報告：杉並育英サイテック（SITEC）のサクラは？

去る2023年3月22日杉並サイテックの桜が咲き始めたということで育英ファミリー会幹事有志でサイテックを訪問し、桜を愛でた。五分咲きであったが若木に桜の花びらがほころびていた。今年はコロナの等級変更が行われる5月に移動して来る5月20日（13:00～15:00）に「育英ファミリーの集い」を計画している。すでに去る2019年に開催されたときの欠欠回答者宛てに案内状を発送した。

なお案内状が届かない方で参加ご希望の方は同窓会事務局までメールをいただければ案内状をお送りします。

メール→事務局 事務局次長 木戸能史 kido@salesio-sp.ac.jp



サクラは五分咲き（参加は育英ファミリー会幹事有志で主に工高16期と林前同窓会長）



2023年06月08日

予告：小川えみさんのリサイタル (2023/7/20)

2023年5月20日育英ファミリーの集いには60名を超えるOBOGが参加し、盛会のうちに終わりました。コロナ下で3年の間やむをえなく休会に至っていました。この集いに伏木神父の友人でありカトリック下井草教会聖歌隊で活躍されたソプラノ歌手「小川えみ」さんが参加して下さり、乾杯の歌を始め美声を披露してくださいました。その際にもお披露目があった「小川えみリサイタル」のパンフレットが届きましたので以下に掲載しました。



クラシックにご興味のある方、個人的にご縁のある方などは是非お付き合ってくださいませ (同窓会事務局)

2023年06月12日

報告：鈴木副会長がすばらしいOBを発掘 畠山圭史 (S19D_) さん

当同窓会役員の鈴木 (阿久津) さんがすばらしい卒業生を見つけてくれました。育英高専当時の工業デザイン学科19期の卒業生で陶芸の個展を6/8まで開いておられました。もっと早くお知らせできればよかったのですが…今後何かのときにもお知らせできるようなします。スマホからのダウンロードで見えづらいかもしませんが現場リポートの雰囲気が出ているのでこのままとしました。



2023年06月26日

訃報：野澤 忠義先生が2023/6/12逝去

育英高専 (杉並時代) に永く一般教育国語科で教鞭をとられた野澤忠義先生が去る2023年6月12日逝去されました (享年79歳)。晩年ご病気闘病と伺っており、当職も去る5月20日の集いで顔を合わせ「また入院することになった」と言われた姿を偲びます。6月16日にはお身内による家族葬ということで同窓会からは弔電のみお送りし、弔問は控えていただきました。先生は元職会の幹事役も務められ、恩師のヘンドリックス先生の「人の絆を大切に」という言葉通り、退職教員のお世話もされていました。現役時代は「ワインターフォーゲル部」の顧問を永く務められ、指導を受けた高専学生も多数いること存じます。またヘンドリックス先生との縁で「趣味のステンドグラス」という活動をなさっておりました。以下のホームページにその内容が今でも掲載されているのを見つけました。

<http://www.artglass.sakura.ne.jp/about.htm>

杉並サイテックにおける社会人向けの講座「趣味のステンドグラス」の講師も務められておられました。深く哀悼の意を表しご冥福を祈ります。



2001年当時の卒業アルバムから

2023年06月29日

告知：記念誌総集編2023配布中 (有償)

過去の記念誌等を集めた総集編2023ができました。DVDまたはUSBで提供いたしますのでご希望の方は事務局の木戸までメールを下さい。ご希望のメディアで郵送いたします。



From: Kido Yoshihito (Ikuei Gakuin)
木戸 能史 (育英学院同窓会事務局次長)
<http://www.ikueigakuin-dosokai.org/>
BLOG: <http://igdk.sblo.jp>
PCmail: kido@salesio-sp.ac.jp
携帯mail: kido.yoshihito@gmail.com



ここが卒業生の活躍を広報しているサイトですので是非ご覧下さい

デザイナーからアーティストへ

陶芸家の道に進んだ畠山圭史（高専19期デザイン卒）さんは今年2023、来年2024と連続個展開催
→<https://hatakeyamayoshifumi.com/>

育英時代

学業の一番の思い出は深川先生の課外カリキュラムです。2年生から5年生までの長い期間にカーデザイナーを目指していた私に厳しくも優しく丁寧に毎日のようにスケッチの指導をしていただいたのが大きな糧になりました。この教えがあったおかげでカーデザイナーへの道が開かれました。深川先生に感謝しています。そのカリキュラム内容はスケッチブックに鉛筆で自分のデザインした想像の車の絵を毎日1枚描くことです。毎日のように深川先生に放課後に見ていただき教をいただきました。卒業する時は沢山のスケッチブックになりました。今でもこのスケッチブックを大切に保管しています。ここで学んだのは絵を描くことを継続し習慣にすることと“絵の量”を生み出すこと。



既存の車を描くだけでなく1日1個自らデザインして車を描くことを最初は難しく感じましたが、次第に習慣になり、毎日楽しく深夜遅くまで鉛筆で車のデザイン画を描いていました。ピアニストなど音楽家も毎日楽器に触れる習慣を持っているようです。デザイナーを目指していた私も同じく鉛筆を持って毎日手と頭を動かすことの大切さを理解した勉強でした。



今回の個展：2023/9/19～9/30 GALLERY SAOH&TOMOS

来年の個展：2024/1/31～2/05 日本橋三越美術画廊

右上に続く

左下の続き

1年から5年生まで部活動はカトリック研究会に入っていました。カトリックは教会のバザーの手伝いや毎週近所の障害者施設に通ったりした中で貴重な経験は、指揮者小澤征爾さんの目白のカテドラル聖マリア大聖堂でのクリスマスコンサートの駐車場整理のボランティアです。寒い夜の屋外で駐車場整理をしていた私たちの姿を毎年小澤征爾さんは見ていたようで、特別にベートーヴェンの第九のリハーサル演奏を私たち育英の生徒だけに特等席で聴かせいただきました。素晴らしいクリスマスプレゼントでした・・・その結果信者になる恵みも頂きました。

卒業して

小学生からの夢が実現しカーデザイナーとして日産自動車に入社することができました。勤務地は神奈川県厚木市の日産テクニカルセンターです。計6年の勤務期間でしたが運よく車のインテリアデザイン3年、エクステリアデザイン3年と車の内外を経験することができました。ここでの業務も日々、デザインスケッチを描き続け大量の絵からデザインを厳選し上司と同僚の前で定期的にプレゼンテーションをします。育英高専で学んだデザインの基礎知識とスケッチ技術は大きく私の助けになり、現場にすぐになじむことができたと思います。日産自動車の主力車種のインフィニティ、スカイライン、ローレル等のデザイン開発に携われたことも嬉しい経験でした。

陶芸を志して

27歳を前にして、さらなる野心のような感情が沸き立ち「自分の名で造形作品を世に送り出したい」と無謀な考えを抱き始めていました。日産を退社し陶芸を学ぶところをさがし陶芸修行が始まり、強烈に貧しい生活をしながら陶芸の技術習得の5年を過ごしその中で陶芸作家の生きざまも知ることになります。この世界に安易に入り込んだ自分の浅はかさが浮き彫りになり、やがて自分の思考や想像力の本質を見出せるような“考える体質”が身につく、修行とはこのような経験をする事なのでしょう。そして独立し工房を築いたのは岐阜県岐阜市です。独立後は表現者としての厳しい世界を味わうことになります。陶芸で食べている人はほんの一握り、本当の修行はここからで今32年が続きます。これまで多くの人に助けられています。

京都の有名懐石料理店の女将さんからは毎月、器の注文をいただき助けていただきました。また英国のロンドンでも在日英国公使夫人のおかげで個展を2回開催することができ、東京のビームスのギャラリーでは2回個展を開催しました。そして3年前放映した陶芸を題材にしたNHK朝の連続小説「スカーレット」ではヒロイン戸田恵梨香さん含めメインで主演する俳優さんに長期の陶芸指導と私の陶芸作品がドラマに採用され、ストーリーの主軸になり全国に私の名前と作品が知られました。最近では欧州、アフリカ大陸の6か国の駐日大使夫人にも陶芸を教える機会もあり、この32年間に厳しいこともいくつか経験しています。陶芸で家族を養うことは難しく悩むことも多くありましたが、今では陶芸家をあきらめないで継続して良かったと思います。

次ページに続く

これから

陶芸家になった今でも毎日欠かさず寝る前に鉛筆でスケッチブックに次の陶芸作品の考案や個展会場のレイアウトなどを描いています。これは高専時代からの継続です。10代の若いときに身につけた“習慣”は私の人生に大きく影響を与えました。これからの陶芸家としての自分の仕事について話すことが正直とても難しいです。来年も国内でいくつか個展は決まっていますが、今後の展望はそう簡単には描けません。自分の創作思考や作品の成長に集中していて、まさに今この陶芸の仕事に365日“夢中”になっています。

在学中の高専生へ。自分の夢を大きく大切にもちながら、短い5年の間で今できること、今日できることに精一杯集中することで夢を実現できると信じてください。
絵を描くのが上手でない、デザインすることが何なのか分からない、アイデアが浮かばない、誰でも最初の頃は同じようなものです。「継続は力」です。毎日鉛筆と紙を持って頭と手を動かしてください。

木工科からスーツアクターへ

育英高専の前身であった「育英工高」には当時木材工芸科という家具職人を養成する科があった・・・それはイエス・キリストが家具職人ヨゼフの子であったことに由来する（伝）。その出身であるきくち英一（工高12期卒）さんの寄稿である

想い起こせば・・・

何の不自由もない菊池家だけど、お金はなかったような気がした。五つ上の兄貴は都立造園高校を出て植木職人として働いていた。母親は私が通っていた小学校で給食のおばちゃんをしていた。家の八畳の床の間に兄貴が買った屏のついた高そうなテレビがあった。兄貴は巨人の大ファンで野球の時は必ず一緒に正座をして観たものだった。私の大好きなチャンバラを観ようとチャンネルを変えるとハエ叩きで頭を叩かれた。体が大きくまるで父親の様であった。父親が亡くなった時、私は3歳で、よく覚えていないが、私が生まれた日本キリスト教団経堂北教会の牧師で温和な人だったと聞いている。その教会は経堂駅のホームから十字架が見えていた。今も見える懐かしい景色である。

育英工高卒業の頃・・・



卒業アルバムから

帝都育英工高(当時の名称) 3年生の時、同級生たちが材木工場や家業の家具工場の手伝いで忙しくしている中、私は役者を夢見て日活ニューフェイスに応募したがかすりもしなかった。池袋の三越デパート(当時)家具売り場に就職が決まったが、役者への夢を

断ち切れず、もうすぐ研修が始まるという時、母親に「どうしても役者になりたい」と打ち明けたところ、「これからの役者は大学の一つも出ていないと駄目だよ」と言われ、一念発起して日本大学芸術学部演劇学科演技コースに入学した。

右上に続く

日芸から役者の世界へ

大学では落語研究会と日芸殺陣同志会に参加。そのつながりでテレビや芝居に出るようになった。卒業後はアクション俳優チームJFAの一員として「忍者部隊月光」「怪獣ブースカ」などのテレビドラマや、洋画「007は二度死ぬ」(1967年)にも暗殺者役で出演、1971年に「帰ってきたウルトラマン」のスーツアクターに。その前に「マグマ大使」の敵役、また「ウルトラセブン」で2話だけウルトラセブンの中に入ってスーツアクターの経験はあったが、私は顔を出して芝居がしたいし、「帰ってきたウルトラマン」は断るために高額のギャラを提示したのに、あっさり了承されて出演することになった。

その後は時代劇や刑事ドラマの他、特に子どもたちに人気の特撮ドラマに多く出演させていただき、幅広い世代が今も私のサイン会やトークショーに来てくれる。親子二代どころか三代で見えていますという方もいるのは本当に嬉しい。「帰ってきたウルトラマン」は、毎朝サラダに食卓塩1瓶全部かけて食べても、病院で「塩分不足」と指摘されるほど大量の汗をかきながら演じたが、その汗は全て幸せな形で報われている。ウルトラシリーズは今も続き、海外でも愛されている。

結び

豊かとは言えない生活の中、夢に向かって背中を押してくれた母親に改めて感謝の思いがこみ上げるとともに、俳優として世代も国も超えて愛される作品に関わることが出来たことを心から誇りに思っている。



同窓会と取材の打合わせ



ウルトラマンのシュワッチも健在！

何十年ぶりに母校の跡地を訪れ在学当時から建っている教会堂周辺を巡って思い出を偲んだ・・・

定期総会議案

2021.9-2023.8

第1号議案 同窓会現況(2023/8)

登録会員総数（重複有）	15274
正会員総数	13323
特別会員総数	890
住所不明総数	3836
物故者総数	641
発送対象会員（住所有効）	7247
発送実数会員（会費既納）	2783

第2号議案 事業報告

2021年10月	SHCD2021（中止）
2021年11月	サ同連世界大会（Remote）
2022年03月	専20期、本55期学内卒業式
2022年05月	執行役員会・キャリアデー
2022年07月	育英祭（学内開催）
2022年09月	サ同連WT会合（Remote）
2022年10月	関信越同窓連合会合（Remote）

第3号議案 2021.9-23.8年決算

21-22年度決算(2021/9-2023/8) 青英学院同窓会

2023/8/18 9:53

	決算	摘要	期首予算	差額
収入の部				決算-予算
前期繰越金	¥5,403,581		¥4,113,017	¥1,290,564
入会金	¥3,612,000	55期+56期301名	¥3,700,000	¥-88,000
年会費	¥1,113,000	250口見込み	¥1,000,000	¥113,000
寄付金	¥27,000	義援金等	¥100,000	¥-73,000
繰越基金	¥234,000	教育支援基金、高専連合会合	¥0	¥234,000
雑収入	¥380,523	預り金、郵送料、利息等	¥100,000	¥280,523
内	¥152,000	代行徴収（育英F会）		
当期収入	¥5,366,523		¥4,900,000	¥466,523
収入合計	¥10,770,104		¥9,013,017	¥1,757,087
支出の部				予算-決算
総会開催費	¥45,528	代管総会2023	¥50,000	¥4,472
名簿発行費	¥302,500	同窓年報（2022、2023）	¥300,000	¥-2,500
会報発行費	¥632,905	高専N(144/145号)	¥500,000	¥-132,905
発送委託費	¥1,414,016	封入・送料（全数7300発送）	¥600,000	¥-814,016
一般事業費	¥577,000	SHCD2023開催	¥2,000,000	¥1,423,000
特別事業費	¥10,000	DB/バッジ・義援金送金	¥300,000	¥290,000
渉外交渉費	¥370,000	日本連合会費・義援金	¥500,000	¥130,000
慶弔費	¥3,300	弔電・香典	¥50,000	¥46,700
支出の部				
会費合費	¥29,447	会合経費	¥150,000	¥120,553
事務消耗費	¥908,632	封筒作成他	¥450,000	¥-458,632
通信送料費	¥10,041	一般郵送料	¥150,000	¥139,959
旅費交通費	¥0	役員出張（日本連合）	¥400,000	¥400,000
手数料	¥73,848	払出	¥32,000	¥-41,848
預り金支出	¥152,000	代行徴収分	¥0	¥-152,000
当期支出	¥4,529,217		¥5,482,000	¥952,783
当期収支差	¥837,306		¥-582,000	¥-1,419,306
次期繰越金	¥6,240,887		¥5,403,581	¥-837,306
支出合計	¥10,770,104		¥10,885,581	¥115,477

2022年10月	SHCD2022（中止）
2022年10月	高専校長他と執行役員懇談
2023年02月	執行役員会
2023年03月	専21期本56期卒業式（学内）
2023年03月	56期謝恩会にて会長出席
2023年05月	キャリアデー（Real・Remote）
2023年05月	鈴木副会長東ティモール大使 感謝状を受ける
2023年05月	育英ファミリーの集い支援
2023年07月	執行委員会（対面）
2023年09月	理事会・評議員会（兼総会） （Real・Remote）

第4号議案 事業計画

2023年10月	育英祭開催（Real）
2023年10月	SHCD2023（Real）
	53,54,55,56期招待
2024年03月	専22期、本57期卒業式
2024年05月	キャリアデー
2024年07月	執行役員会
2024年09月	理事会・評議員会
2024年10月	育英祭
2024年10月	SHCD（休会 2025開催）

第5号議案 2023.9-25.8年予算案

23-24年度予算案(2023. 9-2025. 8) 青英学院同窓会

2023/8/18 9:58

	当期予算	摘要	前期予算	差額
収入の部				前期-当期
前期繰越金	¥6,240,887	前期より増加	¥4,113,017	¥2,127,870
入会金	¥3,876,000	57+58期323名	¥3,612,000	¥264,000
年会費	¥1,000,000	250口見込み	¥1,000,000	¥0
寄付金	¥100,000	卒生等	¥100,000	¥0
当期教育支援	¥0	繰越金内より	¥0	¥0
雑収入	¥100,000	利息・記念誌売上・代行	¥100,000	¥0
当期収入	¥5,076,000		¥4,812,000	¥264,000
収入合計	¥11,316,887		¥9,925,017	¥2,391,870
支出の部	事業経費			前期-当期
総会開催費	¥50,000	定期総会2023-2024	¥50,000	¥0
名簿発行費	¥300,000	同窓年報（2024-2025）	¥300,000	¥0
会報発行費	¥700,000	高専N(146/147号)・同窓年報	¥500,000	¥200,000
発送委託費	¥600,000	封入・送料（隔年3000名）	¥600,000	¥0
一般事業費	¥1,500,000	年次企画（SHCD2023隔年）	¥2,000,000	¥-500,000
特別事業費	¥300,000	特定年度企画	¥300,000	¥0
渉外交渉費	¥400,000	日本連合会費（2024-2025）	¥500,000	¥-100,000
慶弔費	¥50,000	弔電・香典・祝儀	¥50,000	¥0
支出の部	管理経費			
会費合費	¥100,000	会合経費	¥150,000	¥-50,000
事務消耗費	¥500,000	封筒作成他	¥450,000	¥50,000
通信送料費	¥150,000	一般郵送料	¥150,000	¥0
旅費交通費	¥200,000	役員出張（日本連合）	¥400,000	¥-200,000
手数料	¥80,000	払出	¥32,000	¥48,000
預り金支出	¥0	代行徴収	¥0	¥0
当期支出	¥4,930,000		¥5,482,000	¥-552,000
当期収支差	¥146,000		¥64,800	¥81,200
次期繰越金	¥6,386,887		¥5,403,581	¥983,306
支出合計	¥11,316,887		¥9,431,381	¥2,885,506

Loving Kindness Human Technology Living Truth



高専News編集部では
皆様からの情報やご要望をお待ちしております。

ご自身の近況・ご学友の近況などの情報のご提供や、より詳しく知りたい本校の活動内容などがございましたら
お気軽に下記担当者までお問い合わせください。

企画広報課
星野 正登

【 hoshino@salesio-sp.ac.jp 】 or 【 070 - 2196 - 5135 】

なお、本校に来校をご予定の方は、公共交通機関をご利用の上、
お気をつけてお越しください。

